

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン
ロータリー

会長 高 畠 裕
幹事 車 田 裕 介



2022-23年度国際ロータリーテーマ

第1754回例会

令和5年4月13日(18:30～19:30)

○ソング

- 我等の生業

○ビクター

白河市地域拠点整備室 仁平真一室長、八巻寿央主任主査(兼)係長、カダカ千佳主査

○スマイルBOX

- 高畠裕会長(白河市役所地域拠点整備室の仁平室長、八巻主任主査、カダカ千佳主査、本日はお忙しい中、複合施設の説明ありがとうございました。地域の方々に愛される施設となるよう、よろしく願います。)
- 車田祐介幹事(先週の例会は、子どもの入学式により欠席してしまい申し訳ありませんでした。4人目の長女もおかげさまでやっと中学生になりました。また、本日は白河市地域拠点整備室の皆様、卓話ありがとうございました。)
- 宮本多可夫会員(今月は誕生日、結婚記念と続き、お祝いありがとうございました。)
- 成井正之会員(地域拠点整備室の皆様、卓話ありがとうございます。先月は結婚祝が届きました。すばらしいメッセージありがとうございました。)
- 鳴島三夫会員(誕生日のお祝いありがとうございました。)
- 沼田重一会員(先日のゴルフコンペで優勝させていただきありがとうございました。メンバーとハンデに恵まれて優勝できました。今度は反省会だけを楽しみに参加します。)
- 永野文雄会員(白河市の地域拠点整備室の皆様、詳しい説明ありがとうございました。)
- 堀田一彦会員(先日の西クラブゴルフ愛好会コンペに、多くの皆様に参加いただきありがとうございました。ハーフベストの39が出たのでスマイルします。)
- 青木大会員(先日、RCゴルフコンペがグランディゴルフクラブでありました。久しぶりのゴルフでしたが2バーディーと良いスコアで3位になりました。ありがとうございました。)
- 大住由香里会員(地域拠点整備室の仁平様、八巻様、カダカ様、本日は丁寧な説明ありがとうございました。検討委員として関わらせていただいた者として、素晴らしい施設になる事をお祈りしております。)
- 運天直人会員(現在弊社で運営しております昭和町のアイサポ白河店ですが、FC契約の都合により5月15日をもって一旦閉店とさせていただきます。残り一ヶ月、もしiPhoneの修理等で依頼などありましたらよろしく願いいたします。三年間ありがとうございました。)

▶第1754回例会出席状況 (R5年4月13日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	62
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	62.9%

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間 高島裕会長



皆さん、こんばんは。本日も例会のほうに出席をいただきましてありがとうございます。まず初めに、今日のお客様をご紹介したいと思います。白河市役所より地域拠点整備室から、仁平室長。八巻主任主査。カダカ千佳主査。白河市役所のほうで選りすぐった3名をよこしてくれと言ったらこの3名が来ましたので、今日のお話は期待できるのかなと思っております。今日は、白河市が今手掛けております市民会館跡地の複合施設について、生きがい作り、子育て、健康増進、こういった3つの柱をして複合施設ということで、地域の拠点室が主になって、こういった形を進めてくれています。我々市民にとっても、地域の人々にとっても素晴らしい、愛されるような施設になることを期待しております。今日はそういったお話を説明していただけるということですので、皆さん興味がおありでしょうから、ゆっくりお話を伺っていただければなと思っております。また先週は、私そして車田幹事が入学式の為に欠席をさせていただきました。佐藤幸彦会長エレクトもちょっと用事がございます欠席ということで、阿部副会長、大変お世話になりました。ありがとうございます。写真のほう拝見させていただいて、凛々しい感じの写真で素晴らしい内容の例会だったのではないかなと感じております。また先週、土曜日に開催されました西ロータリークラブのゴルフコンペでは、優勝されました沼田会員、おめでとうございます。本当素晴らしいスコアで優勝していただきまして何よりでございます。天気にも恵まれ、ちょっと寒かったんですけども、前の日の雨が嘘のようにあがりまして、本当に素晴らしいゴルフコンペになったなと感じております。また、こちら先々週から須賀川のIMに参加した際に全員にお土産が付いております。まだ例会のほう欠席されて持っていなかったら帰りに吉田さんの横のほうに、須賀川の「うめめん」という麺がございますので、お持ち帰りいただいて召し上がっていただければなと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。今朝方は、北海道のほうではJアラートが鳴ってミサイルがということで心配だったと思うんですけど、国民が飢餓に苦しんでいる中でこういったミサイルなんかを発射してやっているような、独裁者の国というのは本当に何を考えているのかわかりません。そういった部分で我々も被害を受けないようにするためにも気を付けなくちゃいけないんですが、実際Jアラートが鳴ってもどこに逃げるのかなという心配も本当にあります。なかなか平和を願う世界の国々がある反面、そういった独裁者の国が勝手な事をするというような困った世の中でもございますので、こういった形で平和に繋がっていただければなと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。また、最後にわたくし事にはなりません。たまたま先日ですね、夜の南湖公園に行って月が綺麗だったので、桜と南湖と南湖に映る月の写真を撮ったんですけど、それが非常に綺麗な写真でありました。なんだか自画自賛ではありますが、是非私のフェイスブックかインスタグラムを見ていただきますとその写真が出ております。また、同級生の画家がですね、その写真を見て是非絵に描いてみたいということで、絵に描いてくれることになりました。その絵が仕上がったら送ってくれるということなので、ちょっとした多分買い物になってしまうのかもしれませんが、是非その絵を皆さんにご覧いただければなというふうに思っております。今日は、地域拠点室の皆さんが細かくお話をさせていただいて詳しく説明をしてくれますので、質問のある方は後程質問していただいて、市民に

とって愛される施設となることを願っております。今日はこの後、そういったお話がありますので、どうぞ皆さん楽しみにして聞いてください。本日の例会もよろしくお願い致します。

■幹事報告 車田裕介幹事

- 白河市緑化推進委員会会長 鈴木和夫：令和5年度「緑の募金」について
- ガバナー 佐藤正道：訃報
- 須賀川ロータリークラブ：須賀川RC創立60周年記念式典並びにゴルフ登録料について
- 職業奉仕委員会委員長 齋藤純一：「職業奉仕体験事例の収集」至急の提出のお願い
- 県南分区幹事 味戸雄二郎：県南分区IM写真
- 福島西ロータリークラブ世話人 久米充彦：全国ロータリークラブ甲子園野球大会東北地区親睦野球大会報徳地区連盟 福島兼地区代表者会議の報告
- ガバナーエレクト事務所：書類送付案内
- 白河赤十字奉仕団委員長 安澤莊一：令和5年度白河赤十字奉仕団連絡協議会総会の開催について

■委員会報告

- ゴルフ愛好会、野球愛好会 堀田一彦会員
先程、会長のお話にもありましたが、先週の土曜日に「グランディ那須白河ゴルフクラブ」で第3回のゴルフ愛好会のコンペを行いました。優勝が沼田会員、準優勝が長会員ということで、おめでとうございます。また、多くの参加者がありましたので御礼申し上げます。それから、野球愛好会のほうから再来月6月25日に、全国ロータリークラブ甲子園野球大会。甲子園のほうに行ってまいります。皆様、ご寄付、ご協賛など、いろいろちょっと50万円ほどかかりますので、何かありましたらマネージャーの青木君か、監督の吉田さんのほうに、こそと渡していただければなと思ひます。

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○プログラム委員会

藤田龍文委員長



皆さん、こんばんは。本日ゲスト卓話ということで、先程会長からもお話があったように複合施設の基本設計が行政のほうで出来上がりましたので、こちらのほうを広く皆さんにお伝えするという趣旨になっております。説明のほうは、仁平室長。そして、八巻さんのほうで操作していただいて約20分くらいの説明があります。その後、質疑事項とっていただいているので、忌憚のないご意見をいただければなと思っておりますので、それでは仁平室長、よろしくお願ひいたします。

○白河市役所地域拠点整備室室長

仁平真一様



それでは改めまして、本日は市民会館跡地に整備予定の複合施設に関わる事業の進捗状況についてご説明をする機会をいただきましてありがとうございます。わたくし先程、ご紹介がありました地域拠点整備室長の仁平と申します。本日は担当係長の八巻と、担当のカダカ千佳のほうを同席させていただいております。どうぞよろしくお願い申し上げます。はじめに配布資料の確認でございますが、資料はこちらのA4版の横の8枚綴りの複合施設整備基本設計（概要版）というものになります。合わせて画面のほうでも映し出しておりますので、よろしくお願い致します。この資料は、市民の方を代表する検討委員会や、ワークショップで意見を伺いながら検討を重ねてまいりました。複合施設の配置計画ですとか、平面計画など、建物の概略を示す基本設計。これを今年の3

月末に策定しております。その概要がお手元の資料というふうになってございます。早速、1ページをご覧願います。開いていただきまして、計画コンセプト。これまでの経過というふうなところなんですが、まず市民会館跡地は、平成28年にコミネスが整備されたということ、これを契機に跡地になっていたわけですが、市役所庁舎に隣接をしまして、中心市街地の恵まれた環境にあることから、多様な可能性を模索するために、利活用の方針が定まるまでは暫定的に駐車場として利用をすることとしてきました。令和元年8月に、この跡地の利活用にあたっての基本的な方針を定めました利活用基本方針、これを策定し、また令和3年3月には複合施設の整備コンセプトですとか、整備方針などを定めました複合施設整備基本計画というものを策定してございます。1ページの左側には、この計画の整備コンセプトと整備方針を示しているわけですが、整備コンセプトは「みんなの笑顔が繋がるホットスペース、未来の暮らしを作り豊かに住み続けられる町の拠点」というふうな副題を付けてございます。整備方針は3点掲げております。健康増進、子育て支援、生きがい作り、生涯学習ですね。民間機能交流。この5つの機能を導入すること。また、市内の周辺の公共施設と用途が重複しない機能を配置し、老朽化した公共施設の維持管理費を抑えられるよう集約する考え方が挙げられます。最後に3点目ですが、市民、職員が利用しやすい動線で市役所庁舎と一体的に連携できる機能配置とすること。これらを掲げております。では、次にこの基本計画に基づきまして、令和3年5月には複合施設の基本設計というふうな作業。本日、説明する中身の作業に着手したわけですが、当初、概ね計画どおりに進捗をしまして、本来であれば昨年の7月末に完成する予定でございました。しかしながら、ご案内のとおりコロナ禍からの経済再生ですとか、ウクライナ情勢、急激な円安の影響など、想定外の著しい物価高騰が生じております。こういった背景がありまして、物価の推移を見極めるというふうな事と同時に、設計内容の見直しや整備費用を精査することとしまして、この基本設計の作業を本年3月末まで延長したという経過がございます。基本設計に着手して以降ですね、市役所、部長、課長、担当者、そういった各階層による会議、民間委員で構成する検討委員会。さらには、ワークショップ、関係団体、地域説明会、パブリックコメント。こういった市民の意見を集約することに最大限努力をしまして、約1年11か月の期間に渡りまして丁寧な議論を積み重ね、本日も説明する基本設計を取りまとめた次第でございます。なお、この白河西ロータリークラブのメンバーとして本日ご出席をいただいております藤田龍文様、大住由香里様には検討委員会の委員としてご参画をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。では早速基本設計の概要に入りたいと思います。2ページをご覧願います。基本設計のコンセプトとしまして、空間、デザイン、景観の3つの考え方を示しております。それぞれこの空間、デザインごとにまた考え方を整理しているわけですが、空間としましては機能の融合により多様性を生み出す、居心地の良い



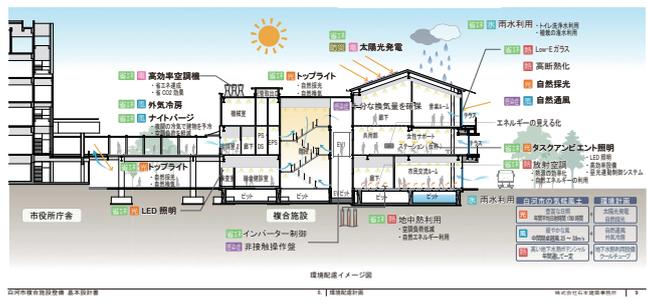
サードプレイスの創出、周辺エリアに波及する賑わい作り。3点の考え方。デザインにおきましては、谷津田川をモチーフとしました求心的な形状。広場と建物の一体的な繋がり。ユニバーサルデザインに配慮した誰でも訪れやすい施設。デザインについては3つの考え方。最後に景観であります。城下町の景観に調和したもののプラス新しい外観デザイン。最後に、白河市の新しい視点場。こうした2点の考え方で設計を進めてきたわけでございます。次に3ページをお開き願います。施設構成計画としまして、導入する機能の概要をお示しているところでありまして、主に3つの機能が、今回の複合施設の柱となっております。まず、健康増進機能としまして市民の皆様の健康を支える拠点となる保健センターを整備しまして、健康づくり、母子保健、食育など、すべてのライフステージに合わせた健康支援を実施する計画であります。続きまして、子育て支援におきましてはワンストップの子育て支援の拠点として子育て支援センターを整備しまして、妊娠、出産、子育てに関する必要な情報の提供ですとか相談支援体制、こういったものを整備をしまして妊娠期から子育て期に渡り、切れ目のない支援を提供する計画であります。また、この子育て支援センターと連動しまして、お子さんの一時的な預かりですとか、保育園等への送迎、こういったものを相互に支援しながら行う、子育てを支え合う事業を展開するファミリーサポートセンター。こうしたものも併せて整備をしております。最後に生きがい作り機能、こちらは生涯学習機能でございます。様々な教室ですとか、講座、グループボランティア活動、こういった事が出来る生涯学習の拠点としまして、中央公民館の機能を含んだ生涯学習センターを整備する計画でございます。このほかの各機能の詳細につきましては6ページ以降の平面計画で説明をいたしますので、こちらのページでは割愛をさせていただきます。次に4ページには、配置計画概要としまして建物の配置計画。市民と車両の動線計画を示してございます。この計画図では、赤色の点線の矢印が市民の動線になっております。青色の矢印が一般車両の動線。緑色の矢印が新たに循環バスの発着点、バス停を設けるための循環バスの動線。最後に赤の三角印が主要な出入口を示してございます。特に建物につきましても、行政サービスエリアと市民活動エリア。この二つに分けまして、利用者の方にとってより分かりやすく明快な構成としまして、施設の内部と広場との活動が相互に感じられる配置としてございます。また、現在市役所と市民会館の跡地に市道がございます。これを廃止する計画であります。こちらを廃止しまして敷地全体を有効に活用しまして、複合施設の2階と市役所の1階。また、市役所の裏には立体駐車場を整備する予定であります。その立体駐車場の屋上階、これをそれぞれ連絡デッキで繋ぎ、市役所庁舎、複合施設、立体駐車場、それぞれの移動の利便性を高めるというような計画としてございます。次に5ページをご覧ください。こちらは敷地と建物の概要になっておりまして、まず市役所庁舎も合わせた敷地全体の面積が15700平米となっております。そのうち、複合施設の整備をする計画地は約5100平米となっております。駐車台数につきましては、立体駐車場の整備を含めた敷地全体で基本計画で試算をいたしました必要台数の約300台を確保する計画としてございます。複合施設は地上3階。延床面積が約5100平米で計画をしております。なお、先程途中見直しを行った旨説明をしておりますが、その見直し前の7月の時点での設計案と比較しますと、延床面積は約300平米縮小してございます。本庁舎に整備する予定の立体駐車場については、二層三階建てとなっております。延床面積は5400平米で計画をしております。以上が敷地全体、建物の主な配置となっております。次に6ページから8ページが複合施設の平面計画としまして、各フロア1階から3階の機能と諸室、部屋ですね。部屋の配置、間取り、おおよその柱で

すとか壁、ドアの位置を示したイメージとしてよりわかりやすく図面化したものが6ページから8ページとなっております。まず、6ページが1階となっております。広場側の赤の三角印。ちょっと小さくて申し訳ないんですがこの三角印、北側の正面入り口を入りまして、施設来訪者が自由に利用できる解放感のあるエントランスホールがまずございます。その左には、多目的に利用できる市民交流ルーム。更にはその左奥には、総合検診ですとか乳幼児健診などでの利用を想定しました総合検診室がございます。これらの総合検診室などの機能が、いわゆる保健センターの機能となっております。また、総合検診ですとか、がん検診の際には、いわゆる検診バス。バスが必要になりますので、本庁側にですね、検診バスを駐車することを計画をしております、その上が2階の連絡デッキとなっておりますので、雨除けができる屋根の役割を果たすことも想定をしております。また、小峰通りに面しました南東側のほうにですね、障害の有無に関係なくお子様たちが遊べる場所としてプレイパークというふうなもの。更には、お母さま方が気兼ねなく利用できるカフェや託児スペース。こういったものを配置する計画としてございます。北東側のエリアに、建物の一体的な活用を想定した広場を整備する計画としてるんですが、こちらは芝生広場や水遊びができるそういったスペース、こういったものを整備する計画となっております。次に7ページをお開き願います。こちらが2階になります。この複合施設の2階部分を連絡デッキによりまして、市役所1階と立体駐車場の3階とそれぞれ接続される計画であります。この階の主な機能としましては、子育てをサポートするワンストップ窓口ですとか、ファミリーサポートセンターなどの子育て支援機能。また、子育て中の女性をメインとした不安解消ですとか仲間づくり、就労支援を行う仮称であります女性サポートステーション。こうしたものを配置する計画としてございます。なお、執務室というふうな表記があるわけですが、この執務室には現在市役所本庁舎の1階にあります、こども未来室というふうな部署と市内北中河原にある健康増進館、これの移転を想定をしております。それ以外にブルーで表記されているのが、生涯学習機能の一部として研修室ですとか、クッキングルーム、調理室ですとか、和室、学習コーナー、こういった配置も計画をしております。8ページが3階になってございます。こちらは生涯学習機能としまして、中央公民館の機能を含みまして生涯学習センターとする計画であります。多目的ルーム、工作室、音楽ルームなど、こういった今現状ですね、中央公民館にもない諸室を整備する計画でございます。次に9ページをご覧ください。こちらは環境配慮計画としまして、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル。ZEB（ゼブ）というんですが、これは今現在建物、いわゆる大きなビルにですね、国のほうで推奨している環境基準でございます。このZEBの実現を目指すこととしております。具体的

8. 環境配慮計画

■環境計画 基本方針「ゼロカーボンシティ」を実現する環境配慮型施設の実現
 本庁では、令和3年10月17日に「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量を削減することを目指す「ゼロカーボンチャレンジ」を宣言しました。本施設では、ライフサイクル全体の低炭素化や環境性能に配慮した効率的なエネルギー設備を導入し、建築物エネルギー消費量を50%以上削減する、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の実現を目指します。

- 自然換気・自然採光・自然通風による省エネルギー効果の最大化を図ることで、省エネに寄与する環境性能の向上を図る
- 環境負荷の削減を図るため、太陽光発電パネルの発電効率が高くなる高効率太陽電池、北側面への自然の影が落ちない建物形状
- 雨水利用による雨水の貯留と給水の確保への効果、安定している中継りを利用した給水設計
- 建築材料の選定、建築資材の加工は、環境性能の高い材料を選定し、環境性能の高い材料を選定し、環境性能の高い材料を選定
- 高効率空調機、LED照明、省エネ電機機器などによる省エネルギー効果の最大化を図る
- 建築資材の「環境配慮型」の選定
- 「環境性能」への配慮と「環境負荷削減」の実現
- 白河市の「気候変動対策」を本庁に上乗せする
- 環境性能を高める「自然換気・自然採光」の実現
- 最新技術等による「省エネ・省CO2」の実現



9. 外観パース



には、環境に配慮するというふうな前提ではありますが、ライフサイクルコスト。光熱費、そういったものの縮減を図るというよ

うな観点から、経済性にも考慮しました効率的な省エネの設備を導入する計画でございます。建物のエネルギー消費量の50%以上を削減する方針に基づいて、今後具体的に検討していくというふうな方向性としてございます。次に10ページが、外観のパースとなります。北東側から、複合施設と立体駐車場と本庁舎の位置関係を俯瞰したイメージになります。次に11ページをお開きいただきまして、こちらは谷津田川の方角から南東側から俯瞰したイメージ図であります。立体駐車場は先程説明してるとおり、二層三階建てとなっております。この立体駐車場単体では、約180台の駐車スペースを確保する計画となっております。12ページが外観パースで、また同じく外観パースであります。複合施設をアイレベル、人の目線の高さで見たイメージ図であります。北東側、白河駅を背にしまして小峰通りから複合施設の正面の入り口のほうを見たイメージであります。外観につきましては、小峰城をはじめとする本市の町並みに調和しつつ、多様な活動が感じられる多くの世代の方々を引き付けるような、そういったデザインをイメージして設計を組んでまいりました。続きまして、13ページ。こちらは同じく南西側からアイレベルで見た外観イメージであります。こちらの南西側の施設は入り口前にはバス停を設けまして、新たに循環バスでの移動の利便性を高める計画としてございます。次に14ページであります。こちらから内観パースになるわけですが、1階の店舗とエレベーターの前の廊下からエントランスホールの方角を見た市民交流ループ周辺の内観イメージであります。1階の図面を少しちょっと出していただけますか。丁度今、矢印なんです、今のこちらの地点からエントランスに向けて見たような内観のイメージ図になっております。内観パース、次の最後に2枚目になります。こちらは、複合施設の3階になります。音楽ルームの前の廊下から中央の吹き抜けの方角を見たホールのイメージ図であります。矢印で示すとおり、音楽ルームの前から吹き抜けの方角を見ているようなイメージであります。複合施設の内側は、木質系の部材等を用いまして温もりと優しさを感じられ、利用する方にとって居心地の良い場所とするということと、賑わいも創出されるようなデザインのイメージをしてございます。以上が、基本設計の概要についての説明をしたいと思います。最後に、今後の予定について説明をしたいと思います。再度1ページをお開きいただきまして、左の下段をご覧ください。この基本設計が完了いたしましたので、今年度は具体的に詳細な設計図面等取りまとめる実施設計というものに着手をいたします。こちらは来年度にかけて策定をする予定であります。また同時にですね、ハード的な整備に併せてやはり施設の維持管理というものが大変重要でございますので、ハード整備と併せて複合施設の中の管理運営方法等の基本的な方針を定める管理運用基本計画というものも策定を進める予定でございます。実施設計の完了後は、建築工事を進める予定でありまして、現時点では令和8年度以降の完成を予定をしております。ただ、多くの市民の皆様からのご期待もあることから、可能な限り早期の竣工を目指してまいりたいというふうにご考えております。なお、スケジュールにつきましては今後の進

捗状況ですとか、社会経済情勢により変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。今後とも、市民の皆様や各種団体の皆様に対して幅広く説明を行い、より多くの意見を伺いながら計画を進めてまいる考えでおりますので、何卒宜しくお願いいたします。なお、これまでの詳細な経過ですとか、基本設計の中身につきましては、市のホームページ等によりまして公表しておりますので、お手数でもそちらをご覧くださいようお願い申し上げます。大変駆け足となりましたが、わたくしの説明は以上であります。ご清聴、ありがとうございますございました。



○質問

宮本多可夫会員

駐車場が一番関心があります。今は跡地が広々としてあるので、そちらに今安心して停めてます。この立体駐車場に入る入り方は、今、市道が閉鎖になるというふうに話してましたから、正面のほうから立体駐車場に行けないことになるんですかね。そうすると、小峰通りから入っていくこのコースだけですかね。

仁平様

はい、現時点ではそのような計画になっております。

宮本多可夫会員

例えば、正面から行って左のほうは今は日本庭園になってるはずなんですけど、それをつぶして駐車場にするという、そういう計画なんですけど、左の、正面の左側。右側は今も駐車場ですけど。それで、正面から行ってその右の駐車場が満杯だから、じゃあ立体駐車場に入れようというふうに思ったなら、ぐるっとまた一回りしなきゃならない、そういう設計ということになるのかな。

仁平様

そうですね、敷地全体ではそういった考え方になってます。今現在、市役所正面にある駐車場、こちら一部植樹がしてあったりするんですけど、こちらのスペースも合わせて再度面的に整備する計画でありまして、こちらの駐車台数を増加させる計画であります。今程、ご指摘いただきましたように正面に来て、もしここがいっぱいだというふうな時には、そこはちょっとお手数をかけてしまおうんですけど、一旦小峰通り側に出て立体駐車場に入ると、そういう動線にならざるを得ないというふうな状況ではあります。

宮本多可夫会員

それから、今の市役所の正面の右側にある駐車場。ちょっと段がある所ね。あそこは軽自動車あたりを想定した入庫なんです。それで、私、運転下手だから、あそこの駐車場は基本的に使わないの。おっかなくて。なかなか入らないんですね。だからいつも近くのほうの駐車場に入れてるんですけど。そういうわけであそこが整備するというふうに仰っていただきましたので、入庫枠もある程度余裕があって、尚且つ今ちょっと考えただけで市民的に使い勝手がどうなのか、いろいろいろんなところ確認しても、なんかかえて不便になるようだななんて逆に思ったりもしたりもするので、いろんな視点でちょっと疑問に思ったので。質問じゃないんだけど、意見みたいなものになっちゃって、すみませんけど。

仁平様

ご意見、ありがとうございます。改めて、全体的な300台というふうなものは需要の試算をして300台でキャパが十分可能だというふうなそういう計算のもとに、300台というふうな試算をしてございます。今程、ご意見いただいたように市民の皆様、ご意見が多いのは、やはり駐車スペースの確保というふうなところでございますので、市役所正面の駐車場のほうにも車両がやはりサイズが大きくなってございますので、駐車場整備にあたってそういう部分の配慮ももちろんさせていただきます。かつ、立体駐車場180台を整備をしまして、複合施設側のほうにも駐車場の整備をして全体で300台というふうなところで、基本的にはこの考え方に基づいて利用しやすいような駐車場整備を取り組んでまいりたいというふうに思っております。いただいたご意見参考にしまして、今後も引き続き検討してまいりたいと思っております。ありがとうございます。

成井正之会員

今、宮本先生が言ったとおり、私も立体駐車場の入り方が難しいんじゃないかなと思ってですね。これはバスが入ってくる所と、それから乗用車が入ってくる所、右左に分かれるんでしょうけども、この入り方すると絶対右折して左折して、また左折するという形になるとえらい時間かかるんですね。これでいっぱいだったら、もうぐるっと回るしかないんですけど、回る所がないんじゃないかなと思うんですね。だから、もう少しバスとそれから入り方をちょっと検討して向きを変えれば、一方でぐるっと回る方がいいんじゃないかなと思ったんですね。それとそのやり方だと、歩道と車道が交差する部分が多いんじゃないかなと思うんです。だから、向きをちょっと変えれば、車は車で優先して通れるようにして、エレベーターホールから真っすぐ歩いて行けるようなそんな形を取れば、もっと良くなるんじゃないかなと思うんですけど。

仁平様

はい、ありがとうございます。駐車場につきましては、初めから組み立てていくものではなくて、いわゆる国の認定を受けた既存の規格の駐車場をコストダウンのために、そういった部材のほうを予定してございます。今程、ご意見いただきました事に関しては、更に実施設計の中で、どういった出入り口ができるかというふうな事も含めて、更に検討を深めてまいりたいと思っております。ご意見、ありがとうございます。

鈴木孝幸会員

いつもお世話になっております。この違いですね、施設一つ設定していく。そして、それを集約。物凄く実は大変でありまして。地域拠点整備室の仁平室長を始めとした担当の皆さんは、ご苦労本当にひしひしとこの図面を見て感じてます。複合施設というのは、単一オープンと違っていろいろな窓口がありまして、その意見も集約しながらそれぞれわがままな事を言うわけですよ。それを集約しながら一つの形にしていくというのは、私の事務所も、最近矢吹と白河のほうで複合施設をやらせてもらった経緯の中で感じておりまして、敬意を表したいと思います。やはり駐車場の話も出たり、いろいろどちらかを取るとどちらかが引込むということですね。こういった施設のまとめ方が常にある。ですけど、本当によくまとめたきたと、さすが室長と感じております。ただ一つ、ちょっと気になったのがこの芝生広場の場所ですね。地上3階建てのこの建物の高さからすれば、階高6メートル弱くらいになると思うんですけど。その物が、この北西にそびえ立ってるという中で、芝生の広場とかそういったものを作るという考え方いいと思うんですけど、やはり日照の感じからすると、多分この後ろの

建物の日影が、真夏の日差しくらいにしか出てこないかなとちょっと感じていまして、この日照から感じ取られる暖かさ温もりというものがですね、実際の所うまく表現できるのかなとちょっと思いました。計画の中で例えば谷津田川のウォーターフロント、視覚的な触れ合い。あとは、谷津田川の景観というものを借景として取り込むような白河市役所の南側。そちらを憩いの広場とするような考え方が、計画の流れの中で出てきたかどうか疑問なんですけど、そこら辺の話をちょっと聞かせていただきたいなど。多分、今回作る建物、白河市役所というのは北側に表情を作っている建物なので、それで規制もですね、ちょっとしたルールの塊のような立体駐車場になるかもしれませんが、そちらを上手く景観として覆い隠すようにこの位置に配置したのかなと想像したりしています。ですけども、今度逆に谷津田川沿いを歩く人たちの視線が、そちらの駐車場に向いた時にどのような形で教えておられるか、その辺をちょっと教えてください。

仁平様

ご意見ありがとうございます。まずは、配置計画でありますがお指摘いただいていますように、アールの曲線はいわゆる北側に向いてございます。幾つか当初は設計プランがあったわけなんですけど最終的に、こちらのアールの曲線をまず選んだのは、町中との繋がりというものをこう強く意識をしました。やはり、小峰通りはいわゆる白河の中心市街地のメインストリート。かつ、小峰城が見えて景観的にも良いという所で、極端に言うところをまず優先したと。併せて、当然中心市街地の一等地にあるわけなので、中心市街地に人が回遊するというようなそういう意図もございまして、アールの曲線から町中に向けて施設を訪れる方を迎え入れる。且つ、施設に来た方がまた町中に流れていく。そういった考え方を優先した結果、今の配置となっております。且つ、ご指摘いただいた日照の関係も、日照データを取って、どういった部分に、例えば水遊びができる場所を設けたらいいのかなというふうなことに關しては、今後また更に実施設計の中で、芝生広場の位置も併せてこれで決まったというわけではございませんので、今後さらに検討進めてまいりたいというふうに思っております。谷津田川からの景観でありますけど、ちょっとわかりにくくて申し訳ないんですけど、11ページの俯瞰図を見ていただくと、すいません、ちょっとこれ何か汚れてるのかと見えるんですけど、緑のカーテンのようなものがあります。これは、やはり今ご指摘いただいたように、谷津田川との景観の配慮ということがございますので、ここを例えば植栽ですとか、いわゆる仰々しい駐車場に見えないような、そういった工夫をする必要があるということで、植栽や色の事も含めて、今後具体的に工夫をしていきたいというふうに考えてございます。すべて竹を割ったようにお答えできなくて申し訳ないんですけど、更に実施設計の中でも今いただいたご指摘を含めてですね、検討してまいりたいというふうに思っております。ありがとうございます。

佐川京子会員

二点ばかりなんですけど、先程から出ている駐車場の件なんですけれど、今の臨時の市民会館あった所に停めている三分の一くらいは公用車で占めていると思うんですけども、今度のその立体駐車場になった場合に、その公用車はどこに停める予定になっているのかなというの一点と、もう一つは公民館機能も一部備えるということで、公民館にいろいろ体操教室的なものもあるんですけども、それでお部屋に鏡とか、多分要望とかあると思うんですけども、教えていただきたいなと思っています。

仁平様

はい、ありがとうございます。まず、一点目のその公

用車も当然あるわけでありまして、その公用車をどこに停めるかというふうなことはちょっと今確定はしていません。ただ、立体駐車場の屋上階は屋根がないということがあります。そうすると、小さいお子様を連れて複合施設に来る方を考えると、やはりそこは必ず屋根があったほうがよるしいというふうに思っておりますので、そういった考え方を考慮しながら、今後公用車をどこに停めるかという事を決めてまいりたい。ただ、公用車も台数が多かったり、今カーボンニュートラルというような考え方で、電気自動車の導入を公用車にも入れてまいる考えでありますので、公用車の適正化という事も台数の適正化ということも考慮しながら、今後具体的に検討してまいりたいと思っております。最後に生涯学習センターの鏡、写し鏡なんですけど、クラブ会長会のほうからご要望いただいております。そういったご要望踏まえまして、どこかの部屋がいいのかというのはちょっと決まってはいませんが、ちょうど3階の多目的の部屋が、今の中央公民館の入ってちょうど左側の大会議室の代替的な部屋になりますので、おそらくその部屋には鏡を付けていただきたいというようなご要望の声が強いのかなというふうに思いますので、今後具体的な検討は実施設計で、壁をどうするだとか、床の部材をどうするだとかも含めて、実施設計の中で検討してまいりたいと考えております。以上です。

鶴丸彰紀会員

夜間の駐車場の解放というか、使用はできるようにするんでしょうか。実は駐車場があつた周り小さくていいんですよ。沢山あるんですけども、ちょうど市役所周りは駐車場が不便なところがありまして、夜間開いてるんだったらすごくいいなと思うんですね。

仁平様

はい、ご意見ありがとうございます。先程以来、町中への回遊性もというふうな事がありますので、そういった駐車場夜間開放したり、メインは当然、市役所と複合施設を利用の方が中心ではありますが、やはり町中への回遊というようにことを考慮すると、町中の店舗で買い物するような方々にも利用していただけるような、そういうルールを定めていきたいというふうに考えております。

○会長謝辞

高島裕会長

本日はお忙しい中、わざわざ私たちの為に来ていただいて丁寧な説明をいただきまして、ありがとうございます。皆さんから出た意見も、市民の意見として捉えていただいて、白河市民だけではなく周りの町村から来た方々も白河素晴らしいということをおっしゃるような、そういった施設になることを我々は期待しております。少なからず今、駐車場問題が多かったと思うんですけど、夜の駐車場を開放するというのも、やはり必要な事だと思えますし、回遊性をもたらして経済効果を生むというのも一つの特性だと思います。そういった部分で、是非よろしくお願ひしたいと思います。今後とも、我々にこういった何かがあればお声がけさせていただいて、またご報告していただければなと感じております。今日はお忙しい中、ためになるようなお話をいただきまして本当にありがとうございます。今後とも、よろしくお願ひします。

